

タウンミーティングの意見と回答

平成 24 年 2 月 18 日（土）

黒字は市民意見、赤字は市の回答と対応

1. タウンミーティングについて

(1) テーマの設定

- ・論点がバラバラになっていたのでは、市側からの議題提起をもっと詳細にすべきです。
- ・1 時間 30 分という限られた時間の中で「総合計画」と「行財政改革プラン」と大きな課題をテーマにすることは、どちらつかずのミーティングとなってしまっている。
- ・タウンミーティングにしては、内容が難しすぎると感じた。名称からしてもっと夢や希望、明るい加西市の未来について意見交換する場と思っていた。
- ・タウンミーティングの位置づけがよくわかりません。我々住民は、市の将来について専門的な知識や経験を持っているわけではありません。
- ・総合計画や行財政改革プランのパンフレットとかいろいろもらいました。みな、持って帰って読みますか？ 大体の方は捨ててしまいますよ。説明をしていただきましたが、無駄だと思います。もっと市民のためのミーティングを多くしてほしいです。
- ・タウンミーティングの主旨を数日前から知らせてほしい。
- ・今、加西市に課せられたテーマは『5 万人都市の再生』であれば、どうすれば人口が増加するのかについて市民の皆さんの知識を提供してもらおう場にしたらどうでしょうか。
- ・総合計画、行財政プランはすでに決まってしまうので意見が出ないのは当然だと思います。こんな加西市にしてほしい、女性の住みやすい加西市などのテーマであれば意見が多く出ると思う。

今後、参加された皆さんにとって、有意義なミーティングとなるように、若者や女性にも参加しやすいテーマも選定したいと思います。また、多くの方に集まっていただけるよう事前の案内についても、広報の方法や時期を検討していきます。

(2) 参加者・対象者

- ・参加者の年齢層が高く、質問者の意見も多少外れているように思われる。
- ・各年齢層にて出席をいただき、幅広い意見を聞いてもらいたい。
- ・今からでも遅くないと思いますので若い女性の方、中学生等に意見を聞いてほしい。
- ・幅広い年齢層別に各層の考え方を聴取し、加西市民の真意を取りまとめ今後活かしてほしい。

幅広い年齢層から意見を聞くためには、小グループでの開催や、テーマごとの開催など、様々な工夫を行い、一律に広い会場で行うだけでなく、よりきめ細やかで、丁寧な対応によって、多くの貴重

な意見がいただけるように努めます。

(3) 運営方法

- ・ダラダラと説明が長いうえ、資料の数字が小さいので何とかしてほしい。
- ・配布された資料そのものは、後からでも読めるので良いと思うが、会場での説明はもっと分かり易くすべきである。資料だけで細かい数字を言うのは全体像が分かりにくい。
- ・あたり前のミーティングだったのが残念。もっとすばらしい発想とみんなで加西市を発展させたので、このように施策を、と熱く話してほしい。
- ・市民からの意見や感想はもっと簡単にしてもらいたい。
- ・時間が何時から何時までとはじめに言うべき。例えば3時30分から5時までというように。
- ・市の説明や考え方が公務員的な発想に伴うものが多く、もっと民間発想を取り入れてほしい。
- ・質問は1人2件まで。5分以内で済ませること。十分な説明は後日に
- ・15時30分開催の部については、若い人（女性）の参加促進のためにも、子どもの一時預かりをされたらどうかと思います。
- ・プロジェクター等を使ってビジュアルに訴えた方がよい。
- ・市民目安箱の提案

市の説明は、できるだけ簡略で分かり易いようにしていきたいと思っています。参加者の方々から多くの意見をいただけるように努めたいと思います。

また、ご提案のあった質問のルール設定、子どもの一時預かり、プロジェクターの使用など、他の会議での例もありますので、柔軟に対応していきたいと考えます。

(4) その他の感想

- ・市議員との対話集会とか本日のタウンミーティング等に積極的に参加させていただいて、発言するようにつとめております。すごく民主的な取り組みであると思っております。
- ・こんなにたくさんの紙を使ってムダです。
- ・これまでこのような場がなかったので、このような機会を持てたことは評価したいと思います。市民の声を直接聞くことは大変いいことだと思う。定期的にこのような機会を持ってほしい。難しい質問もありましたが、職員・市長等、大変誠実に答えられていて、好感が持てました。

タウンミーティングは、今後も継続して開催します。また、皆様のご意見をお聞きしながら、改善していきたいと考えます。

2. 行財政改革プランについて

- ・たくさんの紙をもらいましたが、内容に具体性がありません。総括的に全てを書かれているに過ぎない。このような多数ページの資料を作る人件費等は別の目的に使われるべきです。
- ・日本国全体の人口が減ろうとしているのに、加西市だけの人口を増やし、活性化しようとするには相当な困難が伴うはず。これらの多くの紙の中から、どのようにこれを実施していこうか

とされているのかが、見えてこない。

- ・加西の元気力アップにしても、行財政改革プラン（素案）にしても、施策ごとに具体策がない。5W1Hでまとめてほしいです。（何を、誰が、いつ、どうして、どのように実現していくのか）そして進捗を明示してほしい。また、未達成のとき、対応をどうするのか明示してほしい。
- ・加西市総合計画、加西市行財政改革プランの説明を聞いたが、机上プランに過ぎないと思う。もっと市民の目線にたった行政を行ってもらいたい。説明は具体性に欠ける。
- ・暮らしが良くなるようなきっちりしたプランだと思いますが、今の財政でこれだけのことができるのか、計算されているのか、年間どれくらいプラスがでるのかと思う。いいことをしても財政がだんだん赤字になっても困ると思います。
- ・プラス思考の提案が少なかった。
- ・取組内容は良いが、その財源はどのようにつくるのか。やはり税収だけではなく、お金を得ていく方法を考える。頭をつかって、アイデアと活動がほしい。

今回説明しました行財政改革プランと総合計画は、多くの項目を説明することとなったため、総括的な内容と項目列記の説明が中心となりました。具体的な中身の説明には至らず、聞いている皆さんにわかりづらいものでした。

この計画で、市は何を実行していくのか、具体的な計画の実行が、市民の皆さんに見えるよう進めてまいります。また、個別の取り組みが未達成である場合や財政収支に増減が生じた場合も、その原因を調べ、必要な見直しや改善を行います。

- ・財政健全化とはどういう状態を認識されているのか？一般家庭では、収入＝支出が普通の事だと思えますが？

健全な財政とは、①収入＝支出という財政運営の堅実性、②経常経費の比率を小さくすること、③行政サービスの質の維持、このような状態にあることを指します。具体的には、災害等の緊急時に備えた基金が十分にあり、インフラ整備など市民が快適に生活できる最低限の事業を遅滞なく実施できる状態と考えています。

- ・今のままの行政機構（国・県も含めて）でいいのか？市職員による国・県への提案とかはした事は？

行政機構のあり方については、将来的には大きな変化があることも想定できますが、まず、近隣市町との事務の広域的連携を考えています。

国県等への要望、提案は、市長会での要望活動をはじめ、機会ある毎に行っています。

また、構造改革特区提案等も行っています。

3. ふるさと創造会議について

- ・ふるさと創造会議の設置により、自分たちの地域は自分たちで考え取り組んでいかなければ地域の元気力、地域の絆が薄れていく一方でありますので、その会議の中で人口増加対策についても

考え、取り組んでいったらどうでしょうか。

- ・ふるさと創造会議の設置について、既存の組織の見直しが必要だと思う。組織が多すぎる。一本化が必要。
- ・加西ふるさと創造会議はいいと思います。しかし、いきいき委員会や、スポーツ21、婦人会、老人会、自治会が集まっている会がたくさんあります。はたして、また1つ増えて会が成立するのか。市民の会も組織の統合とかでうまくできないのか？何より何もしていない市民の参画が望まれるが市民の心を動かすものがない！

加西ふるさと創造会議は小学校区にひとつ立ち上げていただくことを想定しております。ご指摘のとおり、小学校区においては、はつらつ委員会をはじめとして、既に区長様や農会長様、老人会やPTAなど各種団体の役員による組織が各自治会においてもたくさんあります。

どのような形態が望ましいのかについては、市の方でも、他市の事例等を検討し、また、標準的な組織構成などもお示ししたいと考えます。従前からある組織をスライドさせることもひとつです。あるいは、老人会、婦人会、消防、防犯、補導委員、交通安全協会といった地域の様々な組織を新たな創造会議のもとに集約、再整理するのもひとつの方法であると考えます。

現段階では、まだ何も決まっていませんので、ご指摘の点については総合的に、かつ柔軟に対応したいと考えます。

4. 職員の人件費削減について

- ・一般職の給与カットの実施を！
- ・一般職の給与削減について、検討中というプランはないだろう。

一般の職員も平成24年度から子育て支援施策の推進を図るため、給与削減を実施します。タウンミーティング時点では、一般職についても、子育て支援策に活用するという事で給与カットの理解を得ていましたが、給与カットをするにあたっては職員給与条例の改定が必要であり、議会審議を経て行われることとなります。3月議会で上程する予定で手続きを進めている途中であったため、「一般職今後検討」としたものです。ご指摘のとおり、この表現では、実際にどの程度進行しているのか不明瞭であったと思います。

- ・市役所へ用があるとき、訪ねると大半の職員が民間会社との差がありすぎる。こちらから見れば仕事をしているのか？と思われるほど怒りを感じる。この様な状態は何年か前に逆戻りした状態になっている。民間の苦しい又一生懸命に仕事に取り組んでいる姿を見てほしい。民間に比べ人員が多すぎるのではと感じる。
- ・職員の削減は、平成22年290人を平成32年に266人に削減は生ぬるい数字だと言わざるを得ない。

目標は最低限の約束と考えています。今後、定年延長等により、変動することもあります。業務量の見直し等による個々の仕事力の向上により更なる削減を目指していく所存です。

- ・ボーナスの定義は？

ボーナスは、民間では業績などに応じて与えられる特別手当ですが、公務員の場合は、生活補給金的な性格をもつ手当です。

- ・市役所の職員の削減、給料の基本給をもっと下げろ…など。市役所（地方の公務員）は加西市の市民が納めた税金で給料をもらっているでしょう。一般の企業に勤めている人々は50-55歳頃より給料が減ってきます。市の職員の方々も何仕事してるの？市民にはあまり伝わってきません。市民が納得のいく、行政をしてほしいです。

給料構造は、今後とも人事院や兵庫県人事委員会勧告に準拠していく所存であります。仕事の見える化についても注意を払って行きたいと考えています。

- ・賃金について、職能給を導入すること
- ・個々に、職員に年間目標を持たせる
- ・成果（昨年と比べ今年はどうだったか）数値を上げて具体的な成果を挙げる
- ・課の目標と成果
- ・一番の目標は課の人を減らして行くことだと思います。頑張ってください。

ご提言ありがとうございます。コンピテンシー評価も含めた目標評価制度を導入し、職員の資質、士気向上を主眼とした人事評価制度を実施していますが、今後も、行政サービスの低下をもたらさないよう、人事評価制度の改善や事務量調査等による仕事力のアップによる人件費削減に取り組む所存です。

5. 加西市の学校教育について

（1）魅力ある教育

- ・小野市は、教育面で学校に預けていたら安心であると思う。公立で教育面のもっともっと充実、いい計画ではかってほしい。魅力ある学校教育にしてほしい。そんなにとっぴな教育でなければいいが、読み書きそろばんの力が多くの子供に確実につく教育にしてほしいと思います。

校長の学校経営方針のもと、全職員が組織として児童生徒に確かな学力の定着と豊かな心の育成をはぐくむべく、日々、確実な個に応じたきめ細かな指導を行っています。地道な教育活動を展開した魅力ある学校づくりを行っております。

ただ、進捗状況や結果説明の面から、保護者や地域に不満の声もありますので、今後より一層学校の取組状況、保護者・地域が知りたいことを学校から積極的にあらゆる機会を通して、説明・広報するよう各学校にあらためて徹底します。教育委員会の事務局からも教育の重点の説明や広報をしていきます。

小野と比べられています。加西の教育は他市に決して劣ってはいません。安心して学校にお預けください。

（2）教室のエアコン

- ・昨年度、北条中学校が新築されましたが、各教室にエアコンが設置されていますか？
職員室には昔からエアコン（クーラー）があり、生徒達の教室には設置されていない状況です。各家庭ではエアコン（クーラー）がついている現状です。7月～9月は暑くて暑くて、クーラーなしでは勉強できません。ぜひ、各教室にエアコンを設置してやって下さい。
ちなみに小野市は各小中学校すべてについています。昨年新築された小野中学校も全教室ついていきます。加西は全くないため、子供達は学校へ行きたくなくなってしまいます。みんな小野市へ住んで移行しています。
- ・富田小学校も新築計画がありますが、新築の条件に各教室にはエアコンを設置していただきたくよろしく申し上げます。エアコンがつくと、子供達は喜んで学校に行くと思いますし、富田校区に住んでいきたいと親達も思います。新工場の三洋電機のように、屋上、窓、パネル設置し、太陽光発電で可能です。人口の流出も少なくなります。

小野市は耐震補強工事が完了しているため、教育環境の改善として空調整備に取り組まれています。加西市においては、耐震補強計画に基づいた耐震工事を実施中であり、平成28年度に完了させる計画です。耐震補強工事により安全性を確保した後に、全校を対象として空調整備工事を実施する予定です。

（3）学校の統廃合

- ・学校の統廃合について、ビジョンを示さず市民要望により判断するという教育長の姿勢に疑問を感じる。

市挙げての人口増対策への取り組みや、その成果を検証しつつ、0歳から学齢期までの子どもの人数の推移を読みながら、学校の統廃合については慎重に検討を重ねていくべきと考えます。

しかしながら、現在の状況としては、全学校存続の方針のもと、まずは子どもたちの安全確保の面から学校の耐震化を進めるとともに、より良い教育のあり方として、幼小中の一貫した教育を推進しているところです。

ただ、今後の人口の推移の仕方によっては、何年か後には地域・保護者等からの意見や要望も吸い上げる中で、統廃合に関する協議を始めるという可能性も考えられます。

6. 市の広報について

- ・各町への補助金（項目・金額）について広報に掲載して下さい。

補助金制度が市民に広く知られることは、補助金の活用にもつながるためありがたいご提案です。

ただし、補助金は事業毎に異なり多種あるため、どのような方法の広報が適当なのか検討し、実施に向けた取り組みを行いたいと存じます。

- ・広報配布についての実態の把握と徹底に取り組んでください。各町比較によりバラツキあり。

広報配布数については、1軒の家であっても世帯が分かれている場合もあり、実数が把握しにくいのが現状です。毎年1月に各町区長様から配布部数の報告をいただき、その部数をお届けしています。区長様には地域の実態が把握しづらいなか、大変手間をおかけしていますが、部数に変更が生じた都度、区長様から報告をいただき、随時変更して対応しております。

自治会内の配布方法については、自治会により従来の方法、自治会の考え方の違い等により一律というわけにはいかず、各自治会で工夫、改善いただいているところです。

- ・市による町行政へのアプローチについてコスト削減の取り組みを広報で開示して下さい。上記意見については必ず回答してください。方法として町単位での回覧等にて提案します。

平成24年度から新たな地域自治の仕組みを検討しますので、その進捗にあわせ、町への支援や委託料についての見直しが必要になると考えています。

- ・インターネットなどを通じた市民との意見のやりとりは出来ますでしょうか。震災ガレキの受入は正式に断念し、それに代わる被災地支援、本当に求められる支援を出来る限り、しっかりやってほしいと思います。

震災応援は、組織的に実施すべきですので、主に関西広域連合を通じて行っています。また、インターネット等による市民との意見交換ですが、メール等で意見要望をいただければ回答させていただいています。改革プランにも改めて広聴の重要性を定めています。

7. 土地利用

- ・市街化調整区域を撤廃してほしい。現在制約が多すぎて、娘が結婚しても自分の家の土地（農地）に住宅を建てる事が出来ず、他の地域へ住まざるを得ないという話をよく聞きます。
- ・なぜ、若者が加西市に住んで子供を増やさないか、もっと若者（20代）の若者に話を聞いてほしいと思います。実際、下里地区には「10年住まない自分たちの家を建てられない」と言う若い人の話を聞きます。賃貸住民に行ってしまった方がたくさんいます。下里にも北条東地区のように若い人が簡単に住める住宅地をもっと増やしてほしい。障害となる法律もなんとか条例によりクリアできるように考えてほしい。また、なぜここに住まないかという事をもっといろいろはつきりさせてほしい。

都市計画法による建築制限により、市街化調整区域では農業住宅や分家住宅等の用途以外は建築ができませんでした。そこで、平成19年より県の特別指定区域制度を活用し、小学校区内に10年以上お住まいされていた方が住宅建設できる「地縁者の住宅区域」を定め、この区域内での建築制限の緩和を図っています。今後は、「地縁者の住宅区域」の区域拡大を含めた見直しと、10年未満の方でも住宅を建設できる「新規居住者の住宅区域」の区域指定に向け、地元の皆さんとともに進めていきます。

ただし、農地を宅地利用する場合には、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）により、農地転用の制限がされている区域があります。この区域内では、自分の土地（農地）でありましても、住宅建設ができない場合があります。

現行法上、どこでも家が建つことにはなっていませんが、下里地区においては、ここなら建てること

ができるという区域を今よりも数多く広げていきたいと考えています。

- ・土地の利用にかかる法規制はどうなっているのか。どこの土地だと家を建てる事ができるのか。一般人でも分かる様な広報が必要。

住宅を建設するために必要な、都市計画法上の要件及び基準をまとめた情報は、市ホームページに掲載していますが、行政からの情報発信不足もあり、ご指摘のとおり市民の皆さんへの広報は十分とはいえません。例えば、農地の手続きや見直しの時期を知る人は少なく、せっかく家を建てたいと思っても、その時期に間に合わなかったりします。時期を逃さず周知できる広報等、対策が必要です。

また、宇仁地区では新規居住者のための住宅地を確保し、地元住民が営業マンとなって若年層の定住化を進めています。このような事例も広報で市域に広め、他の地域にも浸透していくことも必要と考えます。

- ・最近、加西も住宅が建ちはじめた。はたして、今、乱雑に建っているのか？将来の仕様になっていかないのでは？

市街化区域では良好な市街地の形成を図り、市街化調整区域では無秩序の市街化を防止するために、都市計画法の開発基準や建築基準等のルールに基づいた建築が行われています。また、さらに一定の規模以上の造成や建築物の建築については、市の開発調整条例に基づいた、事業者との事前調整により、適正な土地利用と良好な地域環境の形成を図っています。現在もこのルールに基づいて建築されています。

- ・5万人都市への目標に向けて、北条地区で土地を所有する方に対し、住宅・賃貸等の活用をお願いするチラシが入っていましたが、政策もないのに住民に空いた土地に住宅を建てるように頼むのはおかしい。政策をもっと分かるように説明してほしい。

政策として、市街化区域内に点在する低・未利用地の住宅立地を促進しています。政策に基づき、民間事業者による、市街化区域内の低・未利用地を活用した、住宅建設等の活用について、土地所有者の皆様にご協力をお願いをさせていただいたものです。加西市の土地利用に関する政策については、加西市総合計画や加西市国土利用計画にまとめています。

道路整備

- ・子供たちの通学路の安全対策（特に歩道）に早急に取り組んでほしい。国・県道又交通量の多い市道を大至急予算化してほしい。将来ある若い命を守るために是非お願いしたい。
- ・近隣都市の道路整備事情はどう考える？特に加西市とのつながっている道をどうしていくべきか？

隣接の、小野市、加東市、西脇市の道路整備状況と加西市を比較した場合、市道全体の整備が他市と比較して遅れているのが現状です。

部分的ですが、修繕工事で安心して通行できるようコンクリート構造物等の設置により順次整備して

います。現在、市街地中心部への通行車両の渋滞緩和をめざした市道西谷坂元線を整備しています。

隣接市と接続する国道・県道では、現在、国や県への要望箇所が順次整備されています。今後も、ネットワークの強化となる道路網の構築が出来るよう強力に国・県への要望を続けたいと考えています。

道路の整備には道路用地が必要となりますが、市民の皆様方におかれましては市内道路整備等に係ります用地確保にご協力をお願いいたします。

市立加西病院

- ・昨年、病院カルテの一部更新した。またする。二度に分けると経費大では？

病院の電子カルテシステムの導入についてですが、昨年9月に入院分について導入し、今年の10月に外来分を導入する予定です。導入時期が、入院と外来で異なりますが、システム自体は新たに購入するものではなく、昨年の入院分導入時に外来分も同時導入しております。ただし、外来については次の理由により電子カルテ部分の機能を停止させて、オーダーリングシステムとして運用しています。

導入当初はシステムに不具合が生じやすく、入院・外来同時導入した場合に両方に影響が出ると対応に時間がかかり、患者さんに迷惑をお掛けすることになります。また、従前のカルテサマリ等を電子化する必要があり、入院と同時導入では医師の負担が大きく、現場の混乱を招くことになる等により、準備期間において1年遅れでの実施としています。

同時導入と比べ費用は多少大きくなるかも分かりませんが、経費とリスク回避とを判断した結果であり、2度に分けてシステムをバラバラに導入するものではありません。

- ・子供を持つ親としては小児科の充実をはかってほしい。市民病院の小児科の先生を増やすなど、また北条ばかり小児科が集まっていますが、他の地域にも病院等充実したらいいと思います。

安心できる子育て支援のためには、産婦人科や小児医療の充実が大切です。また、休日の医療体制の確保も重要と認識しております。全ての地域に医師の配置ができませんが、病院と病院との医療連携を強化することで対応していきたいと考えます。

- ・市民病院の警備について、どなたかが今夜、苦情を言われましたが、病院はプライバシーのかたまりであり、警備員は少なくとも市外の人を使うような配慮も必要と思われる。

病院職員も公務員として守秘義務があり、「加西市個人情報保護条例」及び「個人情報保護法」も遵守し業務を行っています。また、警備のみならず、業務を委託している事業者に対しても契約時に「個人情報取扱特記事項」を明記し、プライバシーの保護に努めています。ご意見のとおり、病院はプライバシーのかたまりですが、上記のことを遵守させ、職員も委託事業者も市内外に関係なく採用、配置しています。再度、守秘義務の徹底を図りますのでご理解をお願いします。ちなみに、現在の守衛員は全員市外在住者です

地域で楽しめるスポーツ活動

- ・地域でスポーツ活動をしたいと思ったのですが、どうすれば参加できるのかわかりません。また、

若い人の参加も増やせませんか。

小学校でスポーツクラブ21が活動を行っている校区もありますので、参加は各クラブに問い合わせただくか、市教育委員会へ連絡をお願いします。また、市内には野球、テニス、バスケットボール、空手など、各種目ごとに協会もございますので、市体育協会事務局（42-3723）へお問い合わせください。

出合いを求める若者支援

・婚活以前に、市内で友達を見つけることも難しい。収入が安定しないので、結婚は考えられない。

このような現況を踏まえながら、今後施策を検討させていただきます。

市民活動

・市民活動をするため、姫路市や京都市まで出かけている。市内で若い人も参加できる市民活動・NPO活動を活性化してほしい。

ご提言の実現のため努力していく所存です。また、改革プランにも取り組みとして定めていますので、ご協力をお願いします。

観光

・自然環境を利用した観光事業について北条鉄道を利用した善防山～古法華自然公園への遊歩道、登山道等の整備標識等の整備、長の石山を利用した観光開発（石仏造り）等を開発する播磨下里駅…長駅等を含めた総合観光開発をして頂きたい。現在も春・秋の観光時期には、5～10人づれのハイカーをチョクチョク見られる。※便所・給水箇所等が必要かも知れん。もっと産業が発達する、させる起爆剂的な案がほしいと思います。（例）木材チップによる村おこし、加西の農業をもっと盛んにする。環境の産業を盛んにするなど。

24年度に市の観光施策の指針となる観光基本計画を策定する予定です。計画の検討段階で鉄道と連携したハイキング等についても考慮したいと考えています。